

平成28年6月6日（第2日）

開議 13時00分

次に、5番議員 竹内利一君の質問を許可します。

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

通告に従いまして質問させていただきます。

鞍手町の過去、現在についてということで質問させていただきます。

鞍手町の過去としましては、3村合併の昭和30年で炭鉱のあった時に3万794人の人口がありました。それから昭和35年が2万8,700人、昭和45年が1万8,200人、昭和60年が2万人、平成7年が2万200人と人口は減ったり増えたり、若干ですが減って来ています。いま現在が1万6千人ほどになっています。

未来、2040年には1万人強、町の施策により1万2千人程度というようなことを言われていました。

これについて、町長はどのようにお考えか、このことについてお聞かせ下さい。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

これは社人研の人口推計を見ますと、皆さん方も新聞報道等でご覧になったかと思いますが、2040年問題ということで、鞍手町が消滅都市としては県内ワーストワンと、一番悪いという状況が出ました。

これは、前に一言ついてまして、何もしなかったら消滅しますよという社人研のデータでございます。

これは皆様方に冒頭で申し上げたいのは、いましっかりと町の取り組みをやっておりますので、まず消滅なんていうのはまずあり得ないということをお頭に申し上げたいと思っております。

それと、もう1点は、いま人口推計なんですけど、私どもの町内で作っている計画ですか、最終的には1万2千人ぐらいになるだろうという予測、これはあくまで予測でございます。ただ、いまいろいろな施策、L字ライン構想、そして駅前周辺の開発、インターチェンジの横もございまして、そういったことも積極的にやっております。

人口は多少まだまだここ7～8年は人口が右肩下がりになるかと思いますが、ある一定の所で、いま私がいろいろな施策を打っているのが、こうそうして来れば、そこで歯止めが掛かり、逆にV字回復を願っていまやっているようなところでございます。

以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

徳島町長になって様々な施策をされています。今は土地を耕し種をまかれている段階ではないかと思っております。

国も自治体は自分で稼ぎなさいと、ふるさと納税をつくり、また地方創生の原点は税金を生み出すエンジンを作りなさいというふうに推奨しているのではないかと思います。

正に今だからこそ町長の発想が通じるのです。これが10年前だと、今の町長の発想はおそらく誰もついて行かない状態だったかも知れません。それぐらい発想が奇抜なことをいろいろやられています。地道なこともやられています。

最近の話ですが、他の自治体の首長さんが、私は地方創生が全く分かりませんというような自治体の首長さんがいらっしゃいました。それを聞いて私はびっくりしたのですが、地方創生というのは、どんどんその町を頑張って活気づけて行こうではないかということをやっ行って行かなければいけない。こういう時代にこそ、ちょっと発想の違う奇抜なアイデアも出される町長が頑張っているとと思います。

就任後から今までされたこと、今後、現在実施中、またこれからされて行こうしておられることを少し聞かせていただきたいと思います。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

貴重なご意見ありがとうございます。

まず私が就任させていただいて3年5ヶ月目に入ったのです。

まずは、鞍手町を4つの柱を私は最初に設けたかと思います。

子育て支援と教育の振興ということで、25年6月には、たくさんあるのですが、主だったところだけ掻い摘んでお話を申し上げたいと思います。

25年の6月には風しんワクチンの無料化をやらせていただきました。

25年の4月に町立の保育所の開所時間の見直しも、延長ですね、これもやらせていただきました。それから医療費の完全無料化ということで、昨年10月から未就学者までの無料化を小学校6年生までに拡大し無料化をやったと。

本年度におきましても10月から、これも本当に議会の皆さん方のご協力、ご指導を賜りまして中学3年生までの無料化にバージョンアップを行ったということでございます。

27年4月には、小学校及び中学校の学習アシスタント事業の拡充、中学生バス通学の運賃の補助など、部活の助成制度、こういったこともやらせていただきました。

2つ目に、雇用促進といたしましては、25年の12月から26年の11月にかけて、西区用地に企業4社誘致をさせていただきました。

27年の4月には南中学校の跡地を使いまして、くらて学園（学校まるごとアニメ事業）も開設をやらせていただきました。

大きな3番目に、地場産業の活性化ということの中には、武雄市外自治体と7団体でシン

ガポールに事務所をつくり、ぶどうの輸出、TPPに向かってぶどう等の輸出事業も展開をさせていただきました。

それから、中小企業向けのインターネットショップも開設の補助ですね。これも行いました。

27年の11月に、鞍手企業塾セミナーの実施、これも6回行って、若い人達の企興、興す興ですね、企興の支援事業の一環として、これも実行させていただきました。

第4番目に、自然環境と文化財の整備ということで、27年の1月から剣岳公園の景観整備ですね。一番上のところを全部、これは地元の立林の皆さん方のご協力を本当にいただいて、あそこを綺麗に伐採していただいて、鞍手公園の上に登れば、天気の良い日には芦屋の海が見える程立派になりました。これは本当に地元の皆さん方のお陰であります。あります。

それから、平成28年の4月には古月の横穴の保存整備、これも着手をいたしたところがございます。

もう一つは、私の大きなテーマですが、鞍手町を老若男女全ての人が笑顔で暮らせる町へということで大きく5つの柱を掲げました。

これも主なところだけ申し上げたいと思います。

1つ目の地域環境や住環境のインフラ整備ということで、直方・宗像線の自治体の連絡協議会を設立いたしまして、しっかりした陳情を行うということをいま現在継続中でやらせていただいております。

それから、平成28年3月、都市計画のマスタープランの見直しを行って、先程も申しましたように、鞍手町のブランドデザインをいま作っているところがございます。

それから、大きな2つ目の、福祉の充実ということで、民間事業者との連携による、要はお年寄りの見守り隊、独居老人を絶対孤独死させてはいけないということで、見守り隊の体制の整備を行いました。

それから、26年の4月には、肺炎球菌の予防接種費用の補助も行いました。

27年3月、車椅子ごと乗車出来る、乗降出来る福祉車両を整備と貸し出し事業も開始をいたしました。

平成27年の4月には、地域公共交通の見直しと低床型のバスの導入も行いました。

大きな第3番目に、医療の充実といたしまして、くらて病院に周2回小児科の外来医療の開設を行いました。

それからもうひとつ、これは大きな部分ですが、平成27年の1月に夜間急患の医師2名の待機をさせて、救急車を直ぐに玄関先で待たせない、直ぐに病院に運ぶ体制づくりも行いました。

それから、平成28年の3月、耐震化に伴う移転建て替えを前提としたくらて病院整備基本構想検討委員会の設置をし、くらて病院の建て替え、これは耐震になっておりまんの、くらて病院の建て替え構想も平成32年度までに完結するというので、いましっかりと取り組みを行っております。

大きな4つ目ですが、文化を享受できる環境の整備ということで、平成25年6月には、町のフェスブックの解説を行って発進力を高めました。

それから、平成28年の3月、主要な公共施設4カ所に光回線のWi-Fiのアクセスポイント等を作りました。

最後の大きな町の財政健全化といたしまして、平成26年の4月に町の税金、水道料金、そういったものをコンビニ収納の開始も行いました。

平成27年の6月には、かんがい基金の運用、これは国債の運用を行いまして、現金では260万円を残し、ここでは2回売買をおこないましたので、事実上は約1億利益を出しております。

そして、28年の今年の3月であります、やはりこれもかんがい基金の運用、これも国債の運用の売買をやりまして約3億1,300万円の利益を出して、合計いたしますと、キャッシュフローでは3億1,560万円現金として定期に入れております。これは、全く予想外の利益を生んだということでございます。

いま、そういったことをやっておる状況下でございます。以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

いろいろやってこられているということで理解いたします。

簡単に言えば、来年の町長選挙はどうされますかということです。今までいろいろやって来られて、これからもまだ続けて行く、続けている途中がありますから、それをはっきりとここでお聞かせ願いたいと。

筑豊創生を鞍手からというスローガンで私は行っていただきたいなと思っております、そこはどうでしょうか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

まだまだ、私いろいろなところで会合とか、いろいろな、この前のシアターもそうですが、いろいろなところで町長の挨拶という部分があるのですが、その中において、私、鞍手町の行政としての今後の取り組み、未来を見据えた取り組みということもよく話をさせていただいています。その中におきましては、先程も申しましたように、都市計画のマスタープランをグラウンドデザインを作っているという状況であります。

もう一つはL字ラインですね、北九鞍手夢大橋からインターチェンジ、あそこまでのL字ラインで、これは最終的には南北線を猪倉の方にぶち抜いて南北線をきちっと貫通させるという事業も取り組んでおります。

それから、先程言いました駅前開発、そしてインター横の開発ですね。それと先程言いましたくらで病院は平成32年度までには、何とかこれは完結しなければいけないと、これは

過疎債の影響があるものですから、平成32年度までには待ったなしでやらなくてははいけないという状況下が目の前にぶら下がっております。

それと、くらで学園においては、これは最終的には、アジア、世界を視野にしたインバウンド、いまこれは、旅行会社ともいろいろ、ツアーの話も来ております。

これをインバウンドすることによって、要はたくさんの方が来られますから、当然そこでは、ご商売をされている方にとってはいろいろなチャンスが伺えます。それは地元商工会の皆さん方と共にやって活性化に繋げて行きたいと、そのように思っております。

それから、鞍手の発展如何によっては、新幹線筑豊駅も不可能ではないですよというようなことも述べさせていただいております。

話せば、外にもたくさんあるのですが、そういった事業、やらなければならないという事業がたくさん課題がございます。

いま、竹内議員のおっしゃいましたように、私の任期は来年の1月までで、半年足らずでございますが、言うまでもなく、このぶら下がった事業を継続して、いま私が途中でぶん投げるようなことは絶対やってはいけない、出来ないと私はそのように思っております。

これは、最終的には1月に選挙がありますので、そこで、今まで私がやって来た政策、そしていまいろいろなことを述べた施策、これの真を問うという意味に置いても、町民の皆さん方から指示を受けられるかどうか分かりませんが、私の思いとしては是非しっかりとこの事業を向こう10年ぐらいは掛かりますか、やりきれるまではしっかりやって行きたいと、そのように思っております。以上でございます。

○議長 星 正彦君

以上で竹内利一君の質問を終了します。